

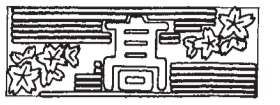
# ご入学おめでとうございます



普通科 137名  
 総合ビジネス科 36名  
 看護科 100名  
 計 273名



平成29年4月10日



# 希望

第 114 号

発行所

〒860-8558 熊本中央区内坪井町4番8号

熊本中央高等学校

後援会(保護者会)広報委員会

TEL 096(354)2333

FAX 096(356)6279

印刷 かもめ印刷 279-3440

## 待望の「新校舎・新寮」が完成

常務理事 松永弘史



本学園は熊本市中心部のここ内坪井町に明治三十六年十月一日に創立され、本年度百十五年目を迎える伝統校です。熊本の歴史と共に過ごしてきた学園校舎は耐震問題を解決するため、耐震設計図面を平成二十六年八月までに作図完了。同年十二月には新築工事に着手、平成二十九年三月に期

間二年六か月を要し耐震校舎三棟・寮一棟が完成しました。

平成二十八年二月に一号館・二号館が完成し、二十八年度から三学全年二十七クラスが新しい学び舎で供用を開始する事が出来ました。直後の四月には熊本地震による災害が発生しましたが、旧校舎については既に解体中だったのが不幸中の幸いでした。この様ななかでしたが、五月下旬には完成した加寿美寮に寮生が入居することができました。

## ご挨拶

教頭 古澤哲二



今年度より、教頭職をさせていただくことになりました古澤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年度は、一・二号館、寮に続き三号館も完成し、生徒たちの学習環境が飛躍的に良くなり、さらなる発展を目指す記念すべき年だということで、その責任の重大さを痛感している処です。

昨年度までは、進路指導部長をしていましたが、ひ

新築と災害復旧が混在するなか、体育館、図書館、グラウンド等の災害復旧工事は十二月までに完了し、仮設校舎には特別教室を一時的に移動するなど、授業に影響が出ないように新築工事を進めてきました。本年三月に三号館が完成し、六月一日に供用を開始し、本学園の全ての耐震新築工事は終了しました。

新校舎には校舎全てにICT(インフォメーションアンドコミュニケーション)テクノロジー 授業用L A N環境設備・情報活用能力の育成を図るための授業設備等)教育の環境設備を充実、大型合同教室(約二百人収容可能)、芸術コース(音楽・美術・書道)対応の教室、食物実習室・被服実習室、理科実験二教室、保健室、柔道場、食堂等の施設についても機能の充実に向上を図りました。今後、生徒のみんなが明るく、楽しく学習ができる学習環境、安心安全な施設を利用して貰いたいと思っています。

と頃の就職の厳しい頃から比べると、求人数も格段に増加し、企業や大学等への合格も希望の志望先に進んでいます。

また、入試改革を間近に控え、保護者の皆様、教職員の方々と協力し、生徒たちの個性を伸ばし、自分の夢に向かって進んでいけるように、微力ではございますが精一杯頑張りたいと思いますので、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

## ご協力、ご支援を

後援会会長 後藤清子



五月二十五日の後援会総会にてご承認いただき今年度会長を務めさせていただきましたことになりました後藤と申します。この大任を重く受け止め、一年間精一杯務める所存でございますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。保護者の皆様におかれましては、日頃より

後援会活動にご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。これからのますますの熊本中央高校、中央生の活躍を確信するとともに私たち保護者も後援会活動を通じて微力ながら応援できればと思っております。生徒の皆さんの頑張りには負けないよう、今年度も、後援会役員をはじめとする会員の皆様方のご理解とご協力を得ながら、子どもたちのためのより良い環境づくりに努めてまいります。会員の皆様の一層のご支援と

## 後援会からのお知らせ

後援会では十一月上旬の文化祭において、後援会バザーを予定しております。十月下旬にご家庭の不要品を集めていただきますので、その際はご協力をお願いします。



## 歓迎遠足



## バーベキュー大会

昨年は熊本地震の為出来なかった歓迎遠足でのバーベキュー大会が晴天の中行われました。

4月28日(金)



# 体育祭

5月13日(土)



3年1組



3年2組



優勝  
赤団



3年3組



3年4組



3年5組



3年6組



3年7組



3年8組



3年9組

## 第29回高校総文祭

6月1日～3日



## 高校総体結果

選手の皆さんお疲れ様。応援してくださった方、ありがとうございました。インターハイでの活躍を期待しています。

**女子柔道**  
 団体 優勝 26年ぶり  
 個人 57kg級 優勝 白石内倉 3位 松岡 優勝  
 63kg級 優勝

**女子ソフトテニス**  
 団体 3位  
 個人 5位 宮原・山崎

**男子バドミントン**  
 団体 3位

**女子バドミントン**  
 団体 準優勝  
 個人複 準優勝 堀内・江藤 3位 増永・石田  
 個人単 3位 堀内

**陸上**  
 優勝 男子走幅跳 日高  
 女子三段跳 野田  
 女子走高跳 茂田  
 女子100mH 池田  
 男子200m 柴田  
 男子4×100R 高田・吉岡・日高・柴田  
 男子棒高跳 花田  
 男子走幅跳 高群  
 女子4×100R 櫻山・野田・波留・池田

2位



3位 男子八種競技 中嶋  
 男子4×400mR 高田・吉岡・嘉悦・柴田  
 女子100mH 松山  
 女子400mH 池田

六月二日、高校総体の開会式が、えがお健康スタジアムで行われました。熊本全域より、多くの選手が参加し、インターハイ出場を目指して白熱した戦いが繰り広げられました。

## 高校総体

## 今学期の学園の様子

### ◆一年学年主任

織田紗智子

あっという間に一学期が終わろうとしています。今年の一年生は、遅刻・欠席がほとんどなくよく頑張る学年です。指導に対しても素直な態度で聞くことができず、「素直」は人の成長を伸ばしてくれるものです。本校で初めて早稲田大学に合格した生徒は、とても素直で、ソフトテニス部で松橋から通学しているのですが、朝課外には、遅刻することなく参加し、部活と勉強との両立を「素直」な気持ちで頑張った結果が、合格に繋がったのです。一年生は、今の素直さを持ち続ければきっと三年後は良い結果が出ると思います。今の気持ちを忘れてないで日々の学校生活を送って欲しいと願っています。いよいよ明日から夏休みです。高校生になって色々なことにチャレンジしてみたいと考えていると思いますが、羽目を外したことで後悔はしないで欲しいと願っています。九月二日には、実力テストがあることを忘れないように。

### ◆二年学年主任

竹原一輝

一学期の二年生の様子今年度はゆっくりとスタートしたような印象でしたが、気がつけば一学期も終わりに近づき、いかに毎日の生活が慌ただしいかを感じます。普通科の総合探究コース(三、四組)や、福祉リビングコース(五組)、総合

ビジネス科(六、七組)は、七月の期末考査後にインターシップ(職場体験)を控えています。特進コース(二組)や芸術創造コース(二組)、看護学科(八、十組)も、それぞれの進路や目標に向けて努力を続けています。

二年生という学年は、よく「中だるみの学年」と言われ、担任団としては生活態度が崩れる生徒が出てくるのではないかと心配していましたが、遅刻や欠席の少なさを見て、それほど大きくは崩れていないように感じ、少し安心しています。しかしここに来て、選んだ学科やコースが自分にとっていないのではないかと自信を無くしたり、迷ったりする生徒が増えたりする気がしています。特に芸術コースや看護科では、取り組むことがはっきりしている分、その傾向が表れているようです。ただ私たちから見れば、生徒たちが取り組んでいる学習や活動はまだまだほんの序の口で、合うか合わないかはもっと突き詰めていかないと分からないことだと考えます。確かにいろいろなことも多々ありますが、今はもう少し踏ん張って、乗り越えてほしいと思います。から毎日見守っています。

### ◆三年学年主任

塩田顕一郎

感動を創る一年に四月の学年集会。「この一年を感謝で始めて、もっと大きな感謝で終わりたい。」Backnumberの「手紙」

をBGMに、久しぶりに全員そろった三年生にそんな話をしました。みんな気合十分。新入生を迎えた歓迎遠足。三年生みんな肩を組んで歌った「明日もきつ」といい日になる。三年生らしくあれ!「先生、だからした体育祭ではなくきちんとした体育祭にしたいです。」という五組の熱い思いに全員が応えた本番の体育祭。仮装行列もソーラン節も、晴れ渡ったスカイブルーの空をつき動かすような勢いと、いい緊張感、そしてひたむきな若さがみなさんの心を動かしたかと思えます。大きな声では言えませんが、わたしがこの学校の中で見た体育祭の中でベストだったと思います。「先生、看護科も普通科も総合ビジネス科も仲良くなりましたよ。」体育祭の後、ある看護科の生徒が、そんなことを言ってくれました。とてもうれしかった。認め合い、わかりあい、高めあおう。これまでずっと言ってきたことが、いや、その言葉と思いがやっとなつたんだなあと感じました。さて、これから普通科、ビジネス科は進路に向けて、看護科は実習をして専攻科へと向かって低くはないハードルを越えていきます。でも、そのハードルを、三年生全員の生徒たちのやる気と三年担任団の実力とチーム力で、必ず越えさせて見せます。感動を創る一年に、たくさんの困難があっても、そのすべてが一人一人の生徒たちの感動に変わるように。そんな思いを込めて一日一日卒業までの日々を生徒たちとともに歩んでいきます。卒業式を楽しみにされていくください。